

2020年12月18日

プレスリリース

ヒューマンライフコード株式会社

「第1回東京ベンチャー企業選手権大会 2019」最優秀賞&東京都知事賞受賞ベンチャー

国内初 新型コロナウイルス感染症の重症患者に対する

臍帯（へその緒）由来間葉系細胞の投与を開始

～日本医療研究開発機構（AMED）の「COVID-19に対する治療薬開発」採択プロジェクト～

臍帯（へその緒）を活用した細胞医薬の研究開発を進めるヒューマンライフコード株式会社（代表取締役社長：原田 雅充、所在地：東京都中央区、以下「当社」）は、新型コロナウイルス感染症（以下、COVID-19）に伴う重症患者を対象とした治験として、国内第一例目の臍帯由来間葉系細胞による輸注療法を開始いたしました。

当社が開発する臍帯由来間葉系細胞輸注療法は、COVID-19により急性呼吸窮迫症候群を発症した重症患者に対し、抗炎症効果による過剰炎症を抑制するのみならず、組織修復効果による呼吸機能の回復に貢献することが期待されており、本治験はその開発の第一歩です。また、本治験は国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）の令和2年度 新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進事業「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対する治療薬開発」に採択されており、産官学連携のもと、安全性と有効性を一例一例慎重に評価して参ります。

海外では、COVID-19の重症患者に対する治療法として、臍帯由来の間葉系細胞を用いた治療効果が既に複数報告されておりますが、未だに確立されてはおりません。当社は、世界に先駆けて国産かつ備蓄可能な臍帯を由来とする治療法を確立すべく、一日でも早い製品化を目指して参ります。



Human Life CORD

J A P A N

■ ヒューマンライフコードについて (<http://www.humanlifecord.com/>)

ヒューマンライフコードは、再生・修復医療に特化し、健康を維持するために存在する細胞を、炎症が過剰に亢進し組織修復が必要となった患者へ“つなげ”（“コード”）、一人でも多くのヒトの心豊かな生活（“ヒューマンライフ”）を実現すべく、臍帯などの廃棄物を臨床使用へ利活用する研究開発を推進しています。国内外のアカデミア・事業会社との戦略的提携を通じ、高品質かつ国産の再生医療等製品を安定供給できる体制を構築し、再生・修復医療の真の産業化に貢献します。2019年「第1回東京ベンチャー企業選手権大会」最優秀賞&東京都知事賞受賞。

■ 代表取締役社長の略歴

原田 雅充（はらた まさみつ）1972年8月29日生

旧通産省工業技術院生命工学工業技術研究所を経て、岐阜大学大学院生物資源利用学（遺伝子工学）を修了し、日本化薬（株）創薬研究本部に入社。アムジェン（株）にて臨床開発業務に従事する傍ら、東京大学医科学研究所分子療法研究分野にて急性白血病に対する新規薬物送達システムの開発研究を担当、米国血液学会などでの口頭発表、米国血液学会誌 **Blood** の筆頭著者として論文掲載。セルジーン（株）にて血液がん治療薬の自社販売体制を構築し、市場導入の成功に貢献。その後、米国にて小児患者との出会いをきっかけに起業を決意しニューヨークへ、MBA取得。帰国後、シンバイオ製薬（株）執行役員、営業・マーケティング本部長を経て、2017年4月にヒューマンライフコード（株）を創業、グローバルでの業務経験に加え、バイオテックに必要な3要素（研究開発・マーケティング・経営）をすべて経験。名古屋大学大学院医学系研究科老年科学 招へい教員（非常勤講師）を兼任。一般社団法人日米協会会員。愛知県名古屋市出身。趣味はテニス、読書、映画鑑賞、神社巡り。

本件に関するお問い合わせ先：

広報担当 林 友紀

E-mail: info@humanlifecord.com